

ユリ科の植物

毒



毒

スズラン

草地に生え、初夏に白い鈴型の花を咲かせる。

有毒部位：全草（特に根）
有毒成分：コンバラトキシン等
中毒症状：
嘔吐、頭痛、呼吸麻痺
→死亡

毒

ホウチャクソウ

山地、原野の林の中に生え、高さ40～50cmになる。白い筒状の花を茎の先に1～3個つけ、強い苦みと悪臭がある。若芽に有毒成分が含まれるので要注意。



毒

チゴユリ

山林のやや明るい林内に生える多年草で、高さ15～30cmになる。葉の形は楕円形で、茎の先に1～2個の白い卵型のつぼみをつける。

